



10月27日 東地申第24号

東大宮訓練センターで発生した「新型コロナウイルス感染症」を

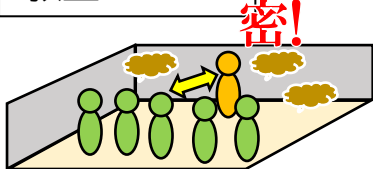
提出!!

受けて各種研修のいったん中止を求める緊急申し入れ

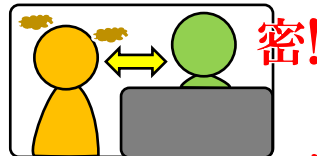
私たち鉄道従事者は、エッセンシャルワーカーとして、感染リスクを「上げない努力」と「下げる努力」に努めながらも、「三密を避ける取り組み」や「新しい生活様式」がなかなか定着せず、多くの職場で感染者が発生しています。

そんななか、10月22日に東大宮訓練センターにて講師の感染が発覚しました。

教室では…



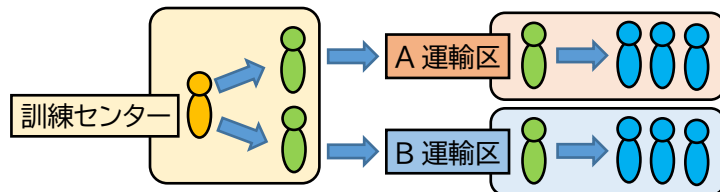
実習線でも…



講師と研修生の距離は近く、換気をしていても感染のリスクは高まります…。

関係者全員のPCR検査が必要だ!!

最悪の場合…



研修生が職場に戻ったとき、全職場にコロナウイルスが波及する恐れも…

クラスターを発生させてはならない!!

消毒作業や保健所の判断により、翌日から予定通り訓練が行われていますが、参加する組合員は不安を抱えています。鉄道事業者に求められている安全・安定輸送という社会的使命を実現するために、以下の2点を申し入れました。

< 申し入れ内容 >

1. 東大宮訓練センターで発生した新型コロナウイルス感染において濃厚接触者の陰性結果が出るまで研修をいったん中止すること。
2. 研修内容により、15分以上密接している恐れがあるため、関係者へのPCR検査を受けさせること。

鉄道事業者の社会的使命を果たすために訓練の一時中止と検査の徹底を求めます!!